

資料3

令和2年度

山形県地域年金展開事業

取組状況 中間報告書

(令和2年4月～令和2年11月)

山形年金事務所

(山形県代表年金事務所)

はじめに

令和2年度上期においては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、対面による事業や会議・研修等を原則中止としていたところです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機として、日本社会やライフスタイルが急速に非接触型のビジネス環境に移行してきております。地域年金展開事業においても、対面型のビジネスモデルから、制度説明会の受講などがオンライン環境で可能となるような非対面型のビジネスモデルへの転換を図っていくことが急務となっていることから、令和2年度下期の取組につきましては、日本年金機構本部において、あらためて確立された基本方針に基づき取組んできたところです。

「令和2年度下期における地域年金展開事業の基本方針」と「取組状況（中間報告）」について、次のとおり報告いたします。

## 令和2年度下期における地域年金展開事業の基本方針

### 全体

- 各事業においては、電話や文書など非対面による活動を主体とし、対面による場合は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で実施する。

### 年金委員(委嘱拡大、活動)

- 年金委員の委嘱拡大については、電話・文書による勧奨や事業所からの新規適用届提出時など他業務で面談する機会を捉えた勧奨・案内は可能とする。
- 地域型年金委員には、自己研鑽のための情報提供のみを行い、原則、電話や文書以外の対面での活動は要請しない。

## 年金セミナー及び制度説明会

○年金セミナーや制度説明会は、教育機関等から開催要請があり、当該機関のテレビ会議システム等を活用した非対面型の実施や、当該機関等における感染防止対策の徹底が可能な場合に限り開催可能とする。

### ※開催要請の捉え方

機構よりアプローチしたもので、開催前に教育機関等へ再度確認した結果、先方から開催してほしいと回答があった場合は要請があったものとする。

○一般的なセミナー動画の活用も可能とする。

## 会議・研修等

○地域年金事業運営調整会議は書面開催のみ可能とする。

○年金委員向けの連絡会・研修は、開催場所における感染防止対策の徹底が可能で、委員からの参加希望があった場合に限り開催可能とする。県内開催等の場合は、テレビ会議システムを活用して実施する。

## 取組状況(中間報告)

### 全体

○市区町村、事業所、関係機関、関係団体等との連携した取組みについては、方針に基づき、電話や文書など非対面による活動を中心に取組んでいます。

主な活動は以下のとおりです。

- ①県内市町村担当職員との打合せや市町村向け情報誌「かけはし」を継続し提供しています。
- ②山形県社会保険協会や山形県年金協会連合会が主催する社会保険事務講習会（5回）や年金制度説明会（7回）へ講師派遣をしています。
- ③山形県社会保険労務士会と業務連絡会議を開催し、年金相談窓口等の運營業務委託に関する調整や厚生年金適用・調査事務にかかる打合せを行っています。
- ④全国健康保険協会山形支部との連携を継続し、年金委員・健康保険委員の委嘱拡大勸奨の取組みや年金委員・健康保険委員功労者表彰伝達式を実施しました。

## 年金委員(委嘱拡大、活動)

○職域型年金委員については、全国健康保険協会山形支部と協力して取組んでいる、新規適用事業所に対する依頼文書の送付を基本に継続し取組んでいます。また、退職等により、解職の連絡が入った際は、必ず後任者の推薦依頼をしております。

事務所独自の取組みについては、寒河江年金事務所での文書勧奨に留まっています。

地域型年金委員については、山形県年金協会連合会からのご協力により、令和2年度11月末現在で10名の推薦届をいただきましたおかげで、プラスに転じています。

### ○山形県内年金委員委嘱者数の推移

令和2年3月末委員数			令和2年11月末委員数		
職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計
1,789	94	1,883	1,763	105	1,868

○年金委員の功労者表彰伝達式の実施については、全国健康保険協会山形支部、山形県社会保険委員会連合会、山形県社会保険協会との共催により、多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々に表彰状が伝達されました。なお、開催にあたっては、出席者の制限や、ソーシャルディスタンス等、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で実施しました。

開催日	令和2年11月19日
開催場所	山形グランドホテル
受賞者	厚生労働大臣表彰 1名
	日本年金機構理事長表彰 4名
	日本年金機構理事表彰 11名

※健康保険委員からは厚生労働大臣表彰 1名、全国健康保険協会理事長表彰5名、全国健康保険協会山形支部長表彰10名が受賞されました。

## 年金セミナー及び制度説明会

- 年金セミナーのアプローチ状況については、年度当初からの新型コロナウイルス感染拡大の影響により、取組みの始動が遅れ、令和2年11月末現在実施校数は88校（昨年同月末実施校数123校）の状況です。12月以降は、年金セミナー用動画の活用も含めアプローチしていきます。
- 年金セミナー実施状況についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響、アプローチの遅れ、更に教育機関側からの開催断念も加わり、令和2年11月末現在実施校数4校（昨年同月末実施校数11校）の状況です。また、今年度も2月、3月に集中する傾向があり、予定校について確実に実施し、年金セミナー用動画も活用し実施します。
- 各年金事務所が主催の制度説明会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大する社会状況の中で、感染リスクを避けることを優先し、令和2年度11月末現在、残念ながら開催できておりません。

## 会議・研修等

- 年金委員向け連絡会や研修会については、県内各年金事務所  
所で四半期に1回の開催を目標にしておりましたが、新型  
コロナウイルス感染症の感染拡大する社会状況の中で、感  
染リスクを避けることを優先し、令和2年度11月末現在、  
残念ながら開催できておりません。
- 令和2年度の全国年金委員研修会につきましては、新型コ  
ロナウイルス感染症対策を考慮した結果、日本年金機構の  
テレビ会議システムを使用し、年金委員の皆様 nationwide の各  
年金事務所に来所し受講していただく形式で開催するこ  
とになりました。山形県内では、11名（職域型年金委員  
8名、地域型年金委員3名）の方々に受講いただきました。  
研修会の最後に、意見交換会も企画され、委員の皆様から  
は、「コロナ禍であっても工夫を凝らして年金制度の研修  
会を実施した」「食堂等職場内に年金関係のポスター掲示  
や職員へのチラシ配布を実施している」また、「年金事務  
所の取組みに期待している」等、元気の出る意見もいただ  
きました。

全国での受講者は、864名（職域型年金委員569名、地域型年金委員295名）とのことで、コロナ禍を踏まえて、工夫を凝らした有効な取組みであったと考えております。

以上、報告とさせていただきます。